

第 2 回 ABINC 認証サイト見学会（工場編）

ABINC では、実際に認証取得されている施設を見学させていただくことで、認証取得（予定）企業や会員企業の知見を深めるとともに、関連企業や担当者同士の繋がりを広げることを目的として、定期的に認証サイトの見学会を開催しています。

2 回目となる今回は「工場編」として、第 1 回 ABINC 賞・特別賞を受賞されている「盛岡セイコー工業株式会社」様の工場緑地と、ABINC 認証施設も含め様々な施設の緑化に用いる樹木を育成・販売している「小岩井農牧株式会社」様に伺いました。

【盛岡セイコー工業株式会社】

第 2 回 いきもの共生事業所[®] 認証取得（2015 年 2 月）／認証更新（2018 年 1 月）

第 1 回 ABINC 賞 特別賞（工場版）受賞（2016 年 9 月）

施設住所：岩手県岩手郡雫石町

概要：盛岡セイコー工業は、杜と水の都・盛岡にある精密工場。世界最高水準の高級メカニカルウォッチを製造しています。周辺に残されたアカマツ、クリ、コナラ等を活かした緑の計画がなされ、構内ではホノリスも見られます。



【小岩井農牧株式会社（環境緑化事業）】

施設住所：岩手県岩手郡雫石町

概要：小岩井農牧株式会社が展開する様々な事業の 1 つである「環境緑化事業」では、山林事業で培った技術と知識を背景に、公園・工場・住宅地などの緑化造園を通じて、人と地域に密着した緑豊かな環境づくりに貢献しています。

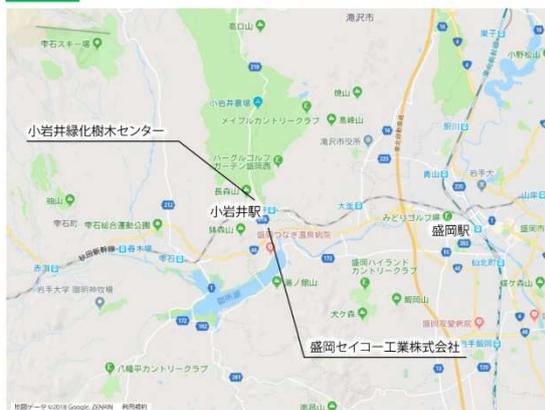


第2回 ABINC認証サイト見学会(工場編)

目的

- ★ 工場緑地の優良事例「盛岡セイコー工業株式会社」の見学を通じ知見を深める。
- ★ 生物多様性に富んだ緑地水辺の整備・維持管理について「小岩井農牧株式会社」の見学を通じて知見を深める。

地図



スケジュール

- 9:00 盛岡駅バスターミナル発
- 9:30 小岩井農場「緑化樹木センター」着
- 9:45
- 小岩井農場 見学会
- 11:30
- 11:45
- 昼食「小岩井農場まきば園」
- 13:00
- 13:20 盛岡セイコー工業 着
- 13:30
- 盛岡セイコー工業 見学会
- 16:30
- 16:45 小岩井駅 解散
- 17:45 盛岡駅 解散



昼食の和風ハンバーグ弁当

■開催日時：2018/10/9（火）

■参加人数：15名

■見学会概要

【現地見学①：小岩井緑化樹木センター】

小岩井農牧株式会社 足澤様の説明で、小岩井農場と生産圃場を紹介していただきました。

現在の小岩井農場のある場所は、もともと水位が高く、酸性土質であり、強い風の吹く不毛の荒野だった場所を、林業と畜産業を成功させるため、長い年月をかけて植栽基盤の改良を行ってきたという歴史のほか、環境緑化事業で携わる様々な事業や、調査・設計・施工・メンテまで対応していること等を伺いました。

現地では、育苗中の植物の特徴などを紹介していただきつつ、植物と生きものとの関係性についてユーモアを交えて解説していただきました。



小岩井農場の紹介

生産圃場の紹介

園内見学の様子

集合写真

【現地見学②：盛岡セイコー工業株式会社】

最初に、代表取締役社長の竹中様に、会社の成り立ちや事業紹介、工場概要をご説明いただきました。

次に、緑地管理を担当されている青木様に、これまでの生物多様性に関する主な活動内容について解説していただいた後、同じく緑地管理を担当されている村里様に、緑地を歩きながら解説していただきました。

盛岡セイコー工業様では、樹林地（コナラアカマツ林）内を、「手をつけないエリア」と「下草刈りなどの管理をするエリア」にゾーニングしたうえで、生きものに配慮した様々な手法を取り入れた維持管理やモニタリングを、「従業員の方が主体」となって実施しています。特に、毎木調査を自分たちで実施されたことには驚きました。また、緑地を活用した各種イベントも実施していますが、盛岡セイコー工業様自身が、緑地について更なる理解を深めることを目的とした勉強会も実施されているそうです。

実際に緑地を見学してみて、緑地そのものが適度に（手入れしすぎず・放置しすぎず）管理されており、工場緑地とは思えない、まるで里山のような林という印象でした。しかし、何よりも「自分たちが主体」で取り組まれていることが素晴らしく、ABINC としても工場緑地のモデルとして広く発信していきたいと思えます。



会社及び工場概要説明

緑地見学の様子

巣箱の利用状況

ABINC 賞の副賞の苗木